別紙

ＩＣＴ活用工事（基礎工（港湾））計画書

当該工事において、施工プロセスの各段階および作業内容において、

ＩＣＴを活用する場合は、左端 のチェック欄に「レ」と記入する。

|  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- |
| 施工プロセスの段階 | | 作業内容 | 採用する  技術番号  （参考） | 技術番号・技術名 |
| □ | ①３次元起工測量 |  |  | １　マルチビームを用いた深浅測量 |
| □ | ②３次元数量計算 |  | | |
| □ | ③ＩＣＴを活用した施工 |  |  | １　捨石投入用バケット位置と目標投入位置をリアルタイムで可視化する技術  ２　均し機の位置と目標均し高さをリアルタイムで可視化する技術  　※複数の技術を組み合わせて採用しても良い |
| □ | ④３次元出来形測量 |  |  | １　施工履歴データを用いた出来形計測 |
| □ | ⑤３次元データの納品 |  | | |

注 1) ＩＣＴ活用工事（基礎工（港湾））の詳細については、ＩＣＴ活用工事（基礎工（港湾））特記仕様書によるものとする。

注 2) 具体的な工事内容及び対象範囲については、契約後、施工計画の提出までに、発注者へ提案・協議し決定する。